

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和5年1月

冬晴れの空が美しい季節となりました。皆様おかわりなくお過ごしでしょうか。さっそく Newsletter 第58回配信です！ どうぞお楽しみください。

【診療科紹介 移植外科】

学生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？

コロナ禍において、院内の実習や部活動なども制限があり、社会的影響で自分の思い描いていた学生生活を送ることができない学生も少なくないと聞いています。

当院移植外科について紹介させていただきます。当科は、生体肝移植および脳死肝移植を年間約 20 数例実施しています。2022 年には成人における脳死肝移植の認可を受け、小児成人の生体・脳死肝移植を実施できる施設となりました。

初期研修では、成人・小児ともに採血や末梢静脈路確保、腹部超音波検査などの基礎的手技に加えて、輸液管理、呼吸循環管理、抗微生物薬の使い方など、どの診療科においても必須の知識を身に着けることができます。後期研修では、より専門的に移植医療を学び、肝生検や胸腔・腹腔穿刺などの外科手技はもちろんのこと、免疫抑制剤などの使い方なども習得できます。また、関連病院で一般外科としての経験を積み、外科専門医取得に必要な症例を取得することができます。その後、消化器外科専門医、小児外科専門医、肝胆膵高度技能専門医取得を目指します。希望に応じて国内外への留学も可能であり、さらなるスキルアップをすることも可能です。従来、積極的に行ってきた肝移植だけでなく、以前から認定されている脳死小腸移植に加えて、2022 年より膵腎移植の認可も受け、日本有数の総合的移植施設を目指しスタッフ一同、大きな夢を掲げ日々診療しております。

興味のある方はぜひ見学にいらしてください。

【連絡先】

佐久間康成教授 naruchan@jichi.ac.jp

大豆生田尚彦(医局員) r1711ot@jichi.ac.jp

医局 0285-58-7069



2022 年 とちぎ子ども医療センター前で撮影

【医師国家試験予想問題】

移植関連の国家試験問題は例年少ないですが、出題範囲には含まれております。肝移植に関する設問と、一般的な肝臓の解剖に関する設問を用意させて頂きました。

【問題1】

- 日本の肝移植について、正しいものを1つ選べ。
- 1. 脳死肝移植が50%を占める。
- 2. 血液型不適合移植も施行される。
- 3. 生体肝移植ドナーの死亡例はない。
- 4. 15歳未満では脳死下臓器提供ができない。
- 5. 小児の生体肝移植の適応疾患としては、先天性胆道拡張症が最も多い。

正解 2

- ×1 2010年に脳死臓器移植法が改正されて脳死移植は増えているが50%には達しておらず、現在も生体移植が大半を占めている。
- 2 リツキシマブを使用することにより、血液型不適合肝移植の成績は向上している。
- ×3 手術が原因で死亡した症例が1例報告されている。
- ×4 2010年の臓器移植法改正により、15歳未満でも脳死下臓器提供が可能となった。
- ×5 胆道閉鎖症が最多である。

【問題2】

- 肝臓の解剖、区域、脈管系に関して正しいものを1つ選べ。
- 1. Rex-Cantlie線は胆囊窩と肝上縁の下大静脈を結ぶ線である。
- 2. 肝臓は、S1~8の8つの亜区域に分かれ、尾状葉はS8に属する。
- 3. 肝臓を固定する肝周囲間膜には肝円索が含まれる。
- 4. 肝周囲間膜には無漿膜野は存在しない。
- 5. 一般的に右肝動脈は総胆管前面を走行する。

正解 1

- 1 Rex-Cantlie線を指標に右肝と左肝に分ける。
- ×2 尾状葉はS1に分類される。
- ×3 肝周囲間膜には5つの間膜(肝鎌状間膜、冠状間膜、三角間膜、肝胃間膜、肝十二指腸間膜)がある。
- ×4 肝臓と横隔膜の間には無漿膜野が存在する。
- ×5 一般的に右肝動脈は門脈前面、総胆管背側を走行する。